別紙２

**令和５年度公募事業助成金応募申請書作成要領**

令和５年度公募事業助成金の応募申請書については、以下の事項を参考に作成するものとする。

１　【様式Ａ関係】（豆類消費啓発助成等事業に応募する場合）

(１)　応募申請書

応募課題名、応募団体名、代表者氏名、事業窓口担当者名等を記載する。

このうち、「応募課題区分」は、公募要領の別紙１の「事業の区分１」の「事業の具体的内容」の①又は②のうち該当するものを記載する。

なお、「応募課題名」は、事業の内容及び成果の形がイメージできるような簡潔な課題名を記述する。

(２)　（別添１）事業計画書

実施を希望する事業の目的、内容、期待される成果等が分かるよう簡潔・明瞭に記述し、全体で２枚以内とする。

事業の実施期間は、原則として、１年以内とする。

(３)　（別添２）事業の収支予算

実施を希望する事業の予算額、その積算根拠等が分かるよう簡潔・明　瞭に記述し、全体で２枚以内とする。

(４)　（別添３）団体の概要

応募団体の概要が分かるよう、団体の所在地、資産の現況、実施事業　　の内容等を記述する。

(５)　添付資料

応募団体の概要等が分かる定款、財務諸表、パンフレット等を添付す　る。

２　【様式Ｂ関係】（豆類調査研究助成事業に応募する場合）

(１)　応募申請書

応募調査研究課題名、応募者の所属する大学・研究機関等の名称、代　　表者名、事業窓口担当者名等を記載する。

このうち「対象豆類の種類」は、調査研究の対象とする「小豆」又は「いんげんまめ」の名前を具体的に記載する。

なお、「応募課題区分」は、公募要領の別紙１の「事業の区分２」の「事業の具体的内容」の①～④の中から該当するものを記載する。

また、「応募課題名」は、調査研究の内容及び成果の利用分野がイメージできるような簡潔な課題名を記述する。

(２)　（別添１）事業計画書

実施を希望する調査研究の目的、内容、調査研究手法、成果、雑豆主産地において期待される効果等が分かるよう簡潔・明瞭に記述し、全体で２枚以内とする。この場合、目的や期待される成果については、それがどのように活用され得るかを極力具体的に記述する。

また、事業の実施期間は、原則として１年であるが、３年間を限度と　　して応募することができる。事業が複数年にまたがる場合は、全体計画を記述した上で、当該年度の事業計画の位置づけ及び内容を記述する。

なお、当該応募事業に係る全体計画の参考図表及びこれまでの調査研　究の成果を２枚以内で添付することができる。

(３)　（別添２）収支予算書（事業の収支予算）

実施を希望する調査研究の予算額（複数年度にまたがる場合は、単年度の予算額）、その積算根拠等が分かるよう簡潔・明瞭に記述し、全体で２枚以内とする。

(４)　添付資料

応募者の所属する大学・研究機関等の沿革、組織、財務諸表、事業活　　動の現況等が記述された要覧等の冊子を添付する。